

米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会は10月20日(木)に防衛省を訪れ、約7万人の署名を提出しましたので、お知らせします。

○伊藤鹿児島県知事への署名状況及び今後の活動についての報告について

協議会は、防衛省等へ要請活動を行う前の10月14日(金)に県庁を訪れ、伊藤祐一郎鹿児島県知事に対して、熊毛地区の住民の半数を超える約2万4700人の移転反対の署名が集まったことを報告しました。

協議会側は、署名が熊毛地区の住民の過半数を超えたことから、「反対が地域の意思」と報告し、伊藤知事も「過半数の署名というのは重い」と述べました。

また、馬毛島への米軍基地の移設に反対する南大隅町及び三島村の町村長さんとも意見交換を行い、今後連携を深めていくことを確認しました。

◆防衛省に対する署名提出及び要請活動について

新内閣が発足したこと及び住民のみなさんからいただきました多くの反対の意思をしっかりと国へ届けるため、10月20日(木)に防衛省へ署名の提出及び要請活動を行いました。

みなさんからの多くの反対の意思をしっかりと国へ届けるべく、国のトップである内閣総理大臣へ提出するよう調整を行いましたが、残念ながら断られ、防衛省へ提出することとなり、沖縄問題等で大臣が不在のため、神風英雄防衛大臣政務官への提出となりました。

7万人を超える署名は、大きなダンボールで5箱にもなりました。



冒頭、協議会の会長である長野西之表市長から要請書が読み上げられ、「住民の反対の意思をしっかりと受けとっていただきたい。」と署名を提出しました。

また、北沢俊美前防衛大臣が沖縄で、「馬毛島に基地が移設されたときには嘉手納基地の米軍の訓練にも使用される」と発言されたことについても、強く抗議を行いました。

川下副会長（中種子町長）からは、「農業地域である中種子町への影響は大きく反対である。」、梶原副会長（南種子町長）からは、「商業ベースの打ち上げが始まるロケット基地への影響は増大であり反対である。」、小脇委員（屋久島町議会議長）からは、「屋久島は世界自然遺産の島であり、観光業が盛んである。島のイメージが低下する。」と反対の意見を述べました。川村委員（西之表市議会議長）からは、「この署名をどう受け止めるか。地元の意思を大事にというのがあれば、今すぐ馬毛島を候補から撤回していただきたい。」と強い発言がありましたが、対応した神風政務官からは、署名については「重く受け止める。」と発言したものの、「要請については政策の継続性もあるため、検討させていただく」との発言にとどまりました。

また、当日は防衛省の要請活動だけではなく、民主党陳情対策本部の鈴木克昌筆頭副本部長及び石関貴史副本部長へ、文部科学省の城井崇大臣政務官へ、外務省の加藤敏幸大臣政務官へも同じく反対の要請活動を行いました。

民主党陳情対策本部では、「地元の理解がないままに進めることは考えられない。」との意見をいただきました。

○防衛省へ提出した署名数

馬毛島への米軍訓練基地等の移転に反対する署名

70,072名分

（内訳）

自治体名	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	熊毛地域 小計	熊毛地域 以外	計
自筆分	9,363	5,029	3,222	7,137	24,751	42,495	67,246
インターネット署名	0	0	0	0	0	2,826	2,826
合計	9,363	5,029	3,222	7,137	24,751	45,321	70,072



（防衛省での署名提出の様子）

協議会は、今後も署名を続けていきます。

そして、今も全国各地から多くの署名がみなさんから届けられています。

多くのみなさんの意思をしっかりと国へ届けることが大事です。

今後も署名へのご協力をお願いします。